

基本理念案

わたしたちのまちは、丹沢の雄大な山なみ、相模川の清らかな流れ、相模野の広大な大地に抱かれ、豊かな自然の恵みのもと、そこで暮らす人々の歴史と文化が培われ、先人の知恵とたゆまぬ努力により発展し、旧津久井4町との合併、指定都市移行を経て、新・相模原市として成長を続けてきました。

しかし、21世紀に踏み込み、わが国は人口増加期から先進諸国に先掛けて全く未経験の人口減少期へ移行しています。また、ICTの進歩のもとIoTやAIの急速な普及は人々の暮らし方や働き方、産業・社会構造を一変させようとしています。そうした社会経済の展望にあって人口減少に対応した温もりのある近隣のつながりや暮らしを楽しむ憩いの場のあるまち、文化の香りや賑わいのある活気に満ち自由に溢れるゆとりのあるまち、急激な少子高齢化に対応した高齢者や子どもが安心して快活に暮らせる健全で利便性の高いまち、地球環境問題に対応した環境・資源に配慮したライフスタイルや資源の地域循環を図る環境負荷の少ないまち、雄大な自然に抱かれて身近な緑や自然生態系の保全・再生を図る美しい景観のまち、そして製品やサービスの高付加価値を図る多様な産業・雇用を集積するまちなど、都市の価値を高める多様なまちの形成が求められます。

そこで示唆されるまちづくりとは、まち独自の生活、文化、産業、自然などまち資源を再発見し、まちの強みを伸ばし、そこに暮らす人々が働き、憩い、住むに値する共感と感動を生み出すまちづくりです。まちに暮らす楽しさ、快適さ、安全、ゆとり、美しさ、快活さ、生きる喜びなど生活の質の充実した住み心地のよい持続可能なまち形成がわれわれの未来を拓く鍵です。わたしたちは、世界の諸都市をリードするそうした多様なまちの個性や魅力で彩られた市民の愛着と誇りを発達させる暮らしやすい都市の実現に向けて共に手を携え、相模原に集う人や企業との多様な交流を進めながら、都市の価値を高め、潤いと活力に満ち、笑顔と希望があふれる相模原市を創造します。